

# 小平嵯峨宮 埋蔵祈願の由来

嵯峨宮（群馬県みどり市大間々町小平348番地）では

埋蔵祈願を実施しています。

埋蔵祈願とは、願いをしたためた祈願書を地中に埋めて祈願するものです。山田郡誌によれば小平の始まりについて

「里俗の説に昔嘉暦（1326年）の際武士七名あり・・・この地に匿（かく）れ嵯峨神社を建立し・・・」と記され、この嵯峨神社を創建することから始まりました。別の資料によるとそれは十二月で、その際「書」数通を埋蔵して祈願したようで、この古例に倣（なら）うものです。月日が経ち希望の芽が地上に出る様に祈ります。

「語らざる 願い地に埋め 春ぞ待つ」

## 埋蔵祈願申込の方法

嵯峨宮本殿に備え付けの祈願用紙に、願文と氏名を記入し、折畳んで糊で封印します。祈願料と祈願書を封筒に入れ、お賽銭口より投入します。神社ではそれを保管し、十二月の埋蔵祈願式の時に、鎌倉時代の衣装をつけた武士七名により祈願書を境内地内に埋蔵し、祈願致します。



記

埋蔵祈願式…毎年十二月中旬（日）十一時令和六年度十二月十五日。（雨天延期）

（注）別途ホームページ等で確認してください。 <http://www17.plala.or.jp/sagagu/>

祈願料…千円

場 所…嵯峨宮境内

（注）嵯峨宮世話人会にても直接受け付けます。

